

# 図書館だより 7月号

川之石高校図書委員会



待望の夏休みです。暑い時期ですが、この長い休みの間に、普段読めないような本を読んでみませんか。

～ 夏季休業中の図書館利用について ～

補習期間中（7月21日～7月31日）図書室は開いていますので、学習等に利用してください。

夏休み中は図書の貸出をしておりませんので、学校の本を借りたい人は、終業式（7月20日）までに借りておいてください。その場合の図書の返却日は、始業式（8月25日）となります。一人3冊まで借りることができます。



## 【新任の先生より】

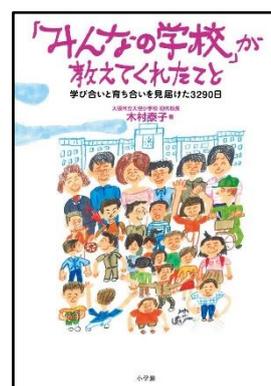
地歴公民科 川口 正裕 先生



私は子どもの頃から読書が苦手で、興味のない文章は右から左へ抜けてしまい、全く頭に入りません。それは今でも変わってないのですが、そんな私が、以前、ネットで人権に関する事柄を調べていた時に、『みんなの学校』というドキュメンタリー映画の公式サイトを見つけました。

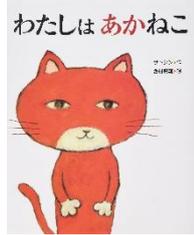
予告編では、2分弱の映像とともに「この町の子どもなら、誰もが通える…すぐに教室を飛び出してしまう子ども、つい友達に暴力をふるってしまう子ども、同じ教室で一緒に学ぶ。みんなが笑顔になる挑戦。すべての子どもに、居場所がある学校を。学校が変われば、地域が変わる。」というテロップが流れ、感動のあまり本編をぜひ見たいと思ったのですが、DVDによる自主上映しか実施されていないのであきらめました。代わりに、みんなの学校（大阪市立大空小学）の初代校長木村泰子さんが書いた『「みんなの学校」が教えてくれたこと～学び合いと育ち合いを見届けた3290日～』という本を購入して読んでみたら、夢中になってあっという間に読み終えてしまいました。他校では様々なことが原因で不登校になっていた子どもが、大空小学校ではみんな通えるようになって卒業していく。そこには学びの本来あるべき姿が描かれています。

もし、私に若さと元気があったら、この小学校を目指して教師になっていたかもしれません。みなさんも、興味があったら、公式サイト of 予告編を見てください。また、本を読みたいと思ったら、私まで申し出てください。本の読めない私が読める本です。



## 〔図書紹介〕

7月に第1回の図書購入を行いました。生徒の皆さんや先生方のリクエストによる本も入っています。その中から2冊紹介します。今回購入した本の一覧は図書館入口の掲示板に掲示しておりますので、見に来てください。



絵本『わたしはあかねこ』（さとしん 著 西村 敏雄 訳）

親子兄弟みんな白や黒の猫らしい色や模様をしているのに、私だけ赤い色。みんな同情してくれるけれど、自分はこの色が好きなのに……。そんな赤猫がとった行動とは？大切なのは、自分が好きかどうか。



『街とその不確かな壁』（村上 春樹 著）

「きみがぼくにその街を教えてくれた。」から始まる700ページ近くの長い作品。村上春樹6年ぶりの最新書下ろし長編ですが、夏休みに挑戦してみてもはどうでしょうか。



## 〔6月 月間図書貸出冊数〕

〈クラス別〉

6月1日～6月30日

1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	合計
8冊	0冊	0冊	11冊	0冊	21冊	1冊	5冊	0冊	46冊

〈個人別〉

1位 12冊 (2-3) 清水 美愛  
 2位 8冊 (2-1) 清水 英磨  
 3位 5冊 (2-3) 竹内 夢乃

期末考査があったせいか、6月は川高図書館で本を借りる人が少なかったようです。2学期以降多くの方が川高図書館を利用することを願っています。また、図書購入のリクエストも受け付けています。



「広い世界への鍵となるのは本である。

もし他に何もできないのなら、出来るだけ本を読みなさい。」

アメリカの小説家、ジェーン・ハミルトン（1957年生まれ）